第19回天体スペクトル研究会のご案内　(第３報 2014年2月23日)

  プログラムができました。

 天体スペクトルを利用して研究されている方、分光器の研究や制作をされている方、学校などで天体スペクトルを教えている方々を対象に、第19回目の研究会を開催いたし ます。下記の通り、参加の申し込みを受け付けています。

 みなさまのご参加をお待ちしています。

参加申込みの締切日（2月25日）が近づいています。ご注意ください。

                                                     研究会実行委員長

                                                     竹田洋一（国立天文台）

 -- 開催要項 ----------------------------------------------------------

 ●日時：2014年3月1日(土)午後1時～ 3月2日(日)午後1時 (予定)

 ●会場：国立天文台　三鷹　[http://www.nao.ac.jp/access/mitaka/](http://webmail.zaq.ne.jp/do/redirect?url=http://www.nao.ac.jp/access/mitaka/&hmac=bd04546b561583c27690efb0d0512240)

 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

 大セミナー室（すばる棟）

 ●参加費 1000円（茶菓子、集録郵送料に充てます。）

 ●懇親会：「和民」武蔵境店 武蔵境駅南口[http://r.gnavi.co.jp/e789212/](http://webmail.zaq.ne.jp/do/redirect?url=http://r.gnavi.co.jp/e789212/&hmac=3bdfe27b90724f73a4ef75b0f8b69160)

19-21時の2時間、費用一般4,000円、学生3,000円

 ●宿泊： 「コスモス会館」宿泊受付は終了しました。

この時期は何か大学入試など他の行事が重なっているのかもしれませんが、天文台への交通の便の良い武蔵境や調布のホテルは、すでに予約が満杯だそうです。従ってもっと範囲

を広げて中央線や京王線の沿線で宿を探されることをお勧めします。

 ●申し込み期限

 発表の申し込み：終了しました。

 参加のみの方：2月25日(火)まで

 末尾のフォーマットにて電子メイルでお申し込み下さい。

 ●お願い

 ・発表される方は、集録用原稿(PDFなどの電子データ)を当日ご持参下さい(A4版数ページ程度まで)。

●  問い合わせ先：[spken@quasar.cc.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:spken@quasar.cc.osaka-kyoiku.ac.jp)

●  プログラムができました。

第19回天体スペクトル研究会　プログラム

口頭発表は講演時間12分＋質疑3分です。ポスター発表は講演時間3分です。

2014/3/1

12:30-13:00 受付

13:00-13:05　実行委員長「開会の辞」事務連絡

13:05-13:20　加藤賢一「弱磁気特異星の特異性」

13:20-13:35　竹田洋一「セファイド変光星の軽元素組成」

13:35-13:50　松永典之 「銀河系中心セファイドの視線速度」

13:50-14:30　招待講演１ 比田井昌英 「岡山からすばるへ、そしてTMTへ」

14:30-14:45　ポスター紹介（3～4分×4人）

　p吉岡一男「成長曲線からの大気パラメーター決定」

　p山本　遼「GLIMPSE9星団の高分散分光」

  p川野元　聡「CDを利用した簡易分光器について」

　p松田健太郎「教育用低分散分光器Ⅱ」

14:45-15:40　休憩（記念写真撮影＋ポスターセッション含む）

15:40-15:55　河北秀世「教育用低分散分光器II」

15:55-16:10　竹内彰継「あなたの望遠鏡が分光器付き望遠鏡に!! 　小型分光器LHIRES Lite試用報告」

16:10-16:25　坂江隆志「自作分光器による太陽観測」

16:25-16:40 休憩

16:40-16:55　原　正「デジタル一眼カメラを用いた簡単な分光と多色測光」

16:55-17:10　直井雅文「高校部活動で行っている自作分光器による天体観測」

17:10-17:25 西村昌能「激変星EM Cygの分光測光同時観測実習」

　事務連絡　宿泊・懇親会会場・明日の日程

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

＜懇親会＞ 武蔵境駅南口の「和民」  [http://r.gnavi.co.jp/e789212/](http://webmail.zaq.ne.jp/do/redirect?url=http://r.gnavi.co.jp/e789212/&hmac=3bdfe27b90724f73a4ef75b0f8b69160)  19-21時の2時間、費用一般4,000円、学生3,000円

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

2014/3/2

09:30-10:00　招待講演２　新井彰「低分散分光観測で迫る、新星爆発と太陽系・銀河系の組成進化の関係」

10:00-10:15　野上大作「太陽によく似たスーパーフレア星の発見」

10:15-10:30　川越淳史「K2型変光星 HD347929 からの巨大フレア」

10:30-10:45　定金晃三「ノバ V339 Del: すばるによる7Be の発見」

10:45-11:00　休憩

11:00-11:15　森谷友由希「TeVガンマ線連星HESSJ0632+057の分光モニター観測」

11:15-11:30　山中雅之「超新星爆発の早期観測について」

11:30-11:45　福江 慧「Derivation of Stellar Abundances with Near Infrared Spectra:

The Case of Metallic Standard Stars」

11:45-12:00　近藤荘平 「赤外線高分散分光器「WINERED」による恒星アバンダンスの測定」

12:00-12:40　「全体討論」「事務連絡」・実行委員長「閉会の辞」

　終了後　エクスカーション（希望者のみ）　国立天文台太陽フレア望遠鏡など、施設見学　引率者　矢冶健太郎氏

招待講演を含め、今回、発表申込みをされている方とその発表要旨は以下のHPにあります。

[http://quasar.cc.osaka-kyoiku.ac.jp/spken/abstract.html](http://webmail.zaq.ne.jp/do/redirect?url=http://quasar.cc.osaka-kyoiku.ac.jp/spken/abstract.html&hmac=fc5d92a01099d64db7c2eee53409242c)

 ●実行委員会構成

 委員長　　竹田洋一（国立天文台）

 委員　　　野上大作（京都大学）

 同　　　　綾仁一哉（美星天文台）

 同　　　　松本　桂（大阪教育大学）

 同　　　　新井　彰（西はりま天文台）

 同　　　　河北秀世（京都産業大学）

 同　　　　鳴沢真也（西はりま天文台）

 同　　　　本田敏志（西はりま天文台）

 同　　　　山中雅之（京都大学花山天文台）

 事務局長　加藤賢一（岡山理科大学、大阪市立科学館）

 事務局　　井上和俊（元大阪府立箕面高校）

 同　　　　片平順一（中之島科研）

 同　　　　西村昌能（京都府立洛東高等学校）

 顧問　　　定金晃三（大阪教育大学）

 ●下記のフォーマットにて電子メイルでお申し込み下さい。

 2択,3択の場合は不要な項目を消して下さい。

 申し込み先アドレス：[spken@quasar.cc.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:spken@quasar.cc.osaka-kyoiku.ac.jp)

  ---------- ここから ----------

 第19回天体スペクトル研究会申し込みフォーマット

 (1)氏名(よみがな)：

 (2)連絡先

　　所属：

　学生の場合は所属に学年もお願いします。

　 e-mail：

　集録郵送先：〒

 (3)参加日程：両日・1日のみ・2日のみ

(4)懇親会(1日の夕方)：参加する・参加しない

 ※　発表の申込受付は終了しました。

 　 ----------- ここまで ---------